

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2009年第51号(週報)

2009年第51週(12月14日~12月20日)

◆◆ 新型インフルエンザ関連情報 ◆◆

インフルエンザの定点当たり患者報告数減少! (前週: 25.50人→今週: 22.92人)

今週の定点当たり患者報告数(県全体)は減少しました。しかし、海南保健所管内の患者報告数は、再び増加し、注意報レベル基準値を超えました。そのため、県内、すべての保健所・支所管内が警報または注意報レベル基準値を超えています。

例年であれば、1月になってから患者報告数が増加します。そのため、今後の患者報告数の推移は、まだ確かなことが言えません。今後も、インフルエンザの予防を十分心がけてください。

新型インフルエンザでも、予防方法は季節性インフルエンザと同じです。手洗い・うがいをしっかりと行い、咳やくしゃみの際の「咳エチケット」も重要です。また、咳やくしゃみ等の症状がある人は、マスクを着用するようにしてください。

7/24の規則改正により、和歌山県新型インフルエンザ対策本部ホームページでは個別の発生経過や発生件数についてではなく、施設等で集団発生があった場合にその状況(例:学校における学年・学級閉鎖等)についてお知らせすることになりました。

- [厚生労働省新型インフルエンザ対策関連情報](http://www-bm.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/index.html)

(<http://www-bm.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/index.html>)

- [和歌山県新型インフルエンザ対策本部を設置しました](http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/011600/kikikanri/singatainhuruenza.html)

(<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/011600/kikikanri/singatainhuruenza.html>)

◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

— 流行性耳下腺炎 : 新宮保健所管内の流行、長期化! —

新宮保健所管内の定点当たり患者報告数は10.50人(前週:6.50人)と増加しました。第30週(7/20~7/26)に警報レベル基準値を超えた後、警報終息基準値を上回る状況が継続しています。

県全体の定点当たり患者報告数は1.26人(前週:0.87人)と全国の患者報告数(過去5年間の平均)と比較しても多くありません。

なお、流行性耳下腺炎の警報・注意報レベル基準値は警報が6.0人(終息基準値:2.0人)、注意報が3.0人です。(ともに定点当たり患者報告数)

★ 流行性耳下腺炎(ムンプス、おたふくかぜ)の詳しい説明は[こちら](http://idsc.nih.gov/idwr/kansen/k03/k03_35.html)

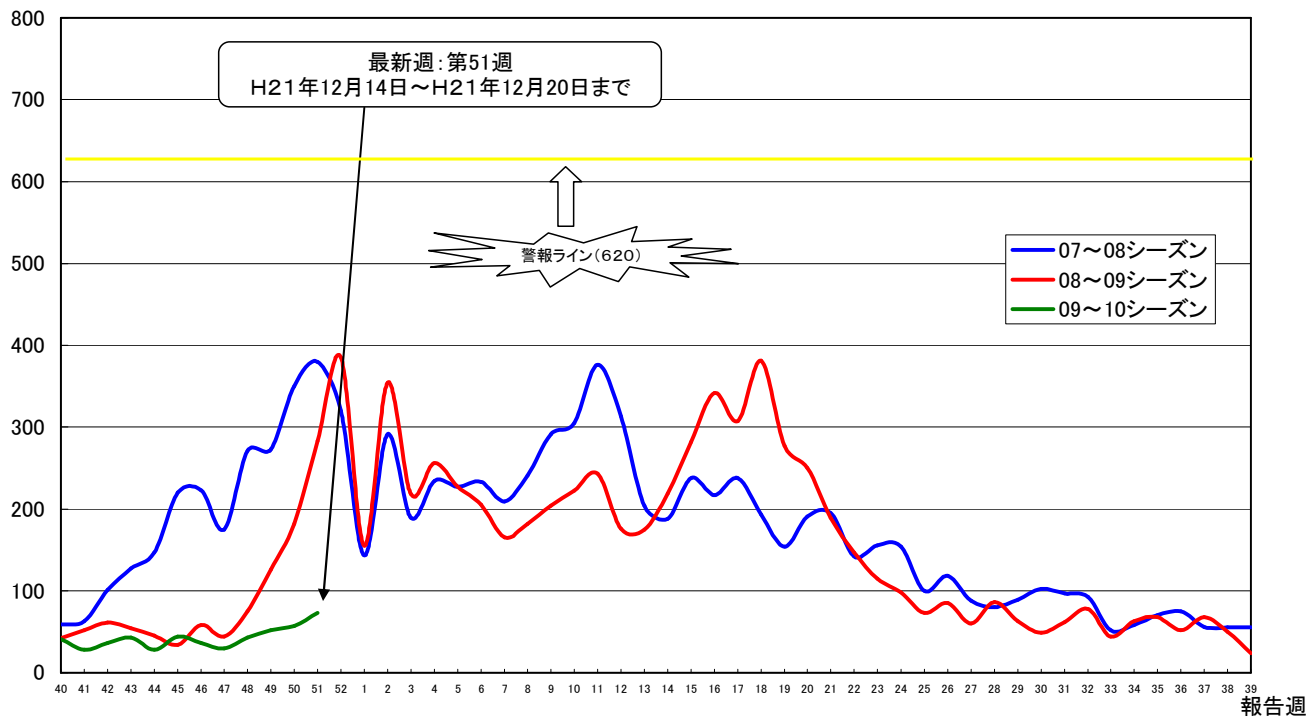
(http://idsc.nih.gov/idwr/kansen/k03/k03_35.html)

— **感染性胃腸炎** : 例年と比較して患者報告数は少ない。 —

例年、冬季に患者報告数が増加する傾向があります。ただ、今年はまだ患者報告数の顕著な増加はみられません。今週の県全体の定点当たり患者報告数は、2.35人でした。

感染性胃腸炎推移(県内31定点医療機関集計分)

報告人数



－ インフルエンザ：すべての保健所・支所管内で警報または注意報レベル基準値を超えています！－

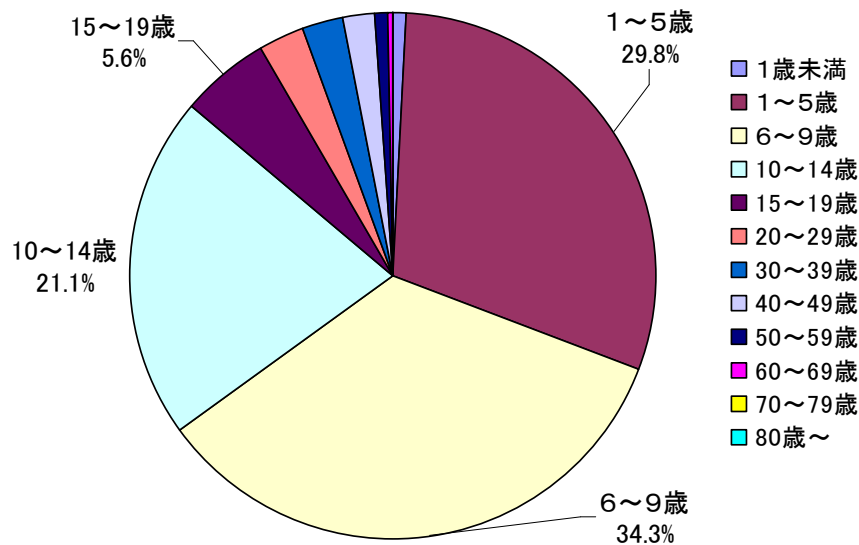
県全体の定点当たり患者報告数は減少しました。（前週：25.50人→今週：22.92人）。

海南保健所管内の患者報告数は前週の報告で終息基準値を下回りましたが、今週再び増加し、注意報レベル基準値を超えました。（前週：7.00人→今週：11.00人）このため、県内すべての保健所・支所管内で警報または注意報レベル基準値を超えています。

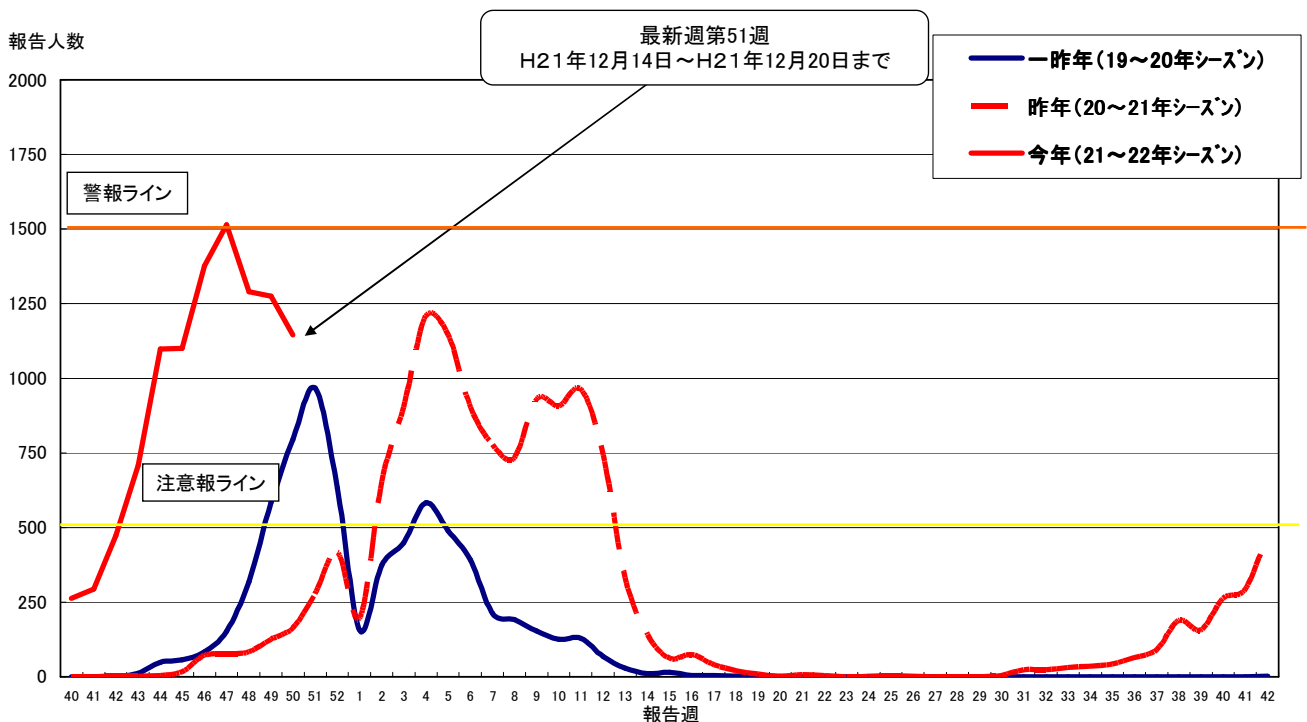
また、定点から報告された患者の年齢分布をみると今週も6～9歳が最も多く34.3%を占めています。また、1～14歳で全体の85.3%を占めています。

なお、インフルエンザの警報・注意報レベル基準値は警報が30.0人（終息基準値：10.0人）、注意報が10.0人です。（ともに定点当たり患者報告数）

インフルエンザ患者の年齢分布（第51週：12/14～12/20報告分）



インフルエンザ定点報告推移（県内50定点医療機関集計分）



◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

<届出状況>

1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。

- 1 類感染症：報告はありませんでした。
- 2 類感染症：結核 3 名
- 3 類感染症：報告はありませんでした。
- 4 類感染症：報告はありませんでした。
- 5 類感染症：急性脳炎 1 名

2) 第 1 週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
新型インフルエンザ(A/H1N1)	245
結核	262
腸管出血性大腸菌感染症	24
A型肝炎	1
つつが虫病	7
日本紅斑熱	11
レジオネラ症	8
アメーバ赤痢	8
ウイルス性肝炎	1
急性脳炎	5
クロイツフェルト・ヤコブ病	1
後天性免疫不全症候群	6
ジアルジア症	1
梅毒	3
破傷風	3
風疹	3
麻疹	7

<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本支所
インフルエンザ	報告	327	33	210	151	67	89	174	55	40
	定当	21.8	11	35	25.17	13.4	29.67	24.86	18.33	20
RSウイルス感染症	報告	10	-	9	1	2	3	-	-	-
	定当	1.11	-	2.25	0.25	0.67	1.5	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	1	-	1	-	-	-	-	-	-
	定当	0.11	-	0.25	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	1	1	1	-	7	3	-	-	-
	定当	0.11	0.5	0.25	-	2.33	1.5	-	-	-
感染性胃腸炎	報告	40	8	11	8	4	1	-	1	-
	定当	4.44	4	2.75	2	1.33	0.5	-	0.5	-
水痘	報告	12	6	9	6	-	-	9	1	2
	定当	1.33	3	2.25	1.5	-	-	2.25	0.5	2
手足口病	報告	1	-	-	-	5	-	-	-	-
	定当	0.11	-	-	-	1.67	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	報告	7	1	5	1	3	1	1	1	-
	定当	0.78	0.5	1.25	0.25	1	0.5	0.25	0.5	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	-	-	-	4	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	1.33	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	9	-	-	2	4	-	3	21	-
	定当	1	-	-	0.5	1.33	-	0.75	10.5	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
流行性角結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	-	…	-	-	-	3	-	2	…
	定当	-	…	-	-	-	3	-	2	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…

和歌山県感染症情報（WIDR）2009 年第 51 号

発行日：平成 21 年 12 月 25 日

発行元：和歌山県感染症情報センター

（和歌山県環境衛生研究センター内）

和歌山市砂山南 3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

（お問い合わせ先）

和歌山県福祉保健部健康局難病・感染症対策課

和歌山市小松原通一丁目 1 番地

TEL 073-441-2643

E-mail e0503001@pref.wakayama.lg.jp

この WIDR は感染症新法に基づいて実施されている感染症発生动向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意下さい。